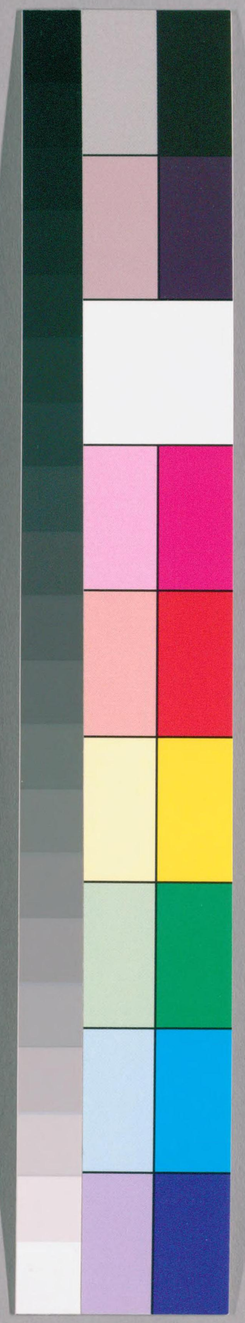
810
18



国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『出水一件』 請求記号 810-18

ガラス使用

大川通出水一件

文化九申年七月

中島三郎左衛門

二拾七

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

一 此分荒地防人足軽百弐人当村千人合
六拾人 百当村分 四百日割 十弐人
合人数七拾弐人
賃銀百四拾四匁
但壱人ニ付弐匁ツヽ

大川通出水之儀ニ付書付

本所見廻

此秋ハ大雨ニ付大川通水嵩ニ相増シ
四時之洪水入ニ而右段々凡六七寸程ツヽ増水ニ而
出崩ニ付而南風ニ而吹返難見極候
一 新田川通下水共ニ而水縁水濁ニ而渡候

右之通為御届申上候

六月廿八日

中瀬三郎兵衛

原 兵衛

大川通出水之儀申上候書付

本所見廻

大川通出水今暁七時迄ニ而漲ニ而五尺

但常水附迄より三寸都合増都合三尺

程ニ増水ニ御座候

一 神田川通同断同様増水ニ御座候

右之通申上候以上

六月廿九日

中島三郎左衛門

原 兵左衛門

大川通出水之儀申上候書付

出役

本所見廻

大川通出水今暁四半時迄汐際へ五尺余

今朝申上候より四寸程相増都合五尺

四寸程之増水ニ而水勢者強濁水流居候

一 神田川通水嵩ハ浅水勢を以而池之中ニ

右之通申上候

六月廿九日

中濱三郎兵衛殿

原 兵蔵殿

大川通出水之儀申上候書付

添役

松本直也

大川通出水今夕七半時頃ゟ次第ニ増水致候処

水嵩今宵同刻迄二尺八寸程増水相成

水濁り之儀相見不申候

一 神田川通水嵩濁り之儀相見不申候

一 大川橋之儀年来損之様ニ付候而候故
防所ニ為差出候事申付候
一 両関所之渡船難渡儀ニ付水防船出来申候由
申付候
右之通申上候
六月廿九日
中嶋六郎右衛門
原 兵庫

大川通出水之儀申上書付
口上
松浦貞造
大川通出水昨夜四半時過ゟ次第ニ増水仕
昨夜中ゟ今朝六ツ時分ゟ又六寸程増候而相成候
増水出来候而段々満水之様子ニ御座候、殊ニ中々
難相成申候

一 神田川通出水ニ付御届申上候
右之通申上候
七月廿日

中西三郎右衛門
原 兵範衛門

大川通増水之儀申上候書付

本所見廻

大川通出水未改時刻ゟ追々増水
仕候ニ付水嵩増候處昼中水嵩弥増ニ相成候
處今朝辰刻頃ゟ是迄之外増水相止候
一 此段河岸通水嵩之儀次第相減候

右村々相届候

一大川堤防并西通共中村以西共所々大破損

も破損同様ニ相成申候

右之通水増浅瀬之増水ニ而仕候ニ付汐

差入之者之取子ニ寄候而猶之通大川堤

増下役之儀申上并所之細川人足申付

候様ニ仕度と奉存候此段申上候

右之通御月番肥前守様ヘ申上候様申上候

以上

七月朔日

中澤三郎右衛門

原兵庫

大川通出水之儀申上候書付

江戸

本所見廻

大川通出水今暁九時過ゟ次第ニ増五尺余相成申候今暁寅刻又九寸余相増都合六尺余増水之而水勢強濁水ニ御座候

一 神田川通之儀同様ニ御座候

右之通申上候

七月朔日

中嶋三左衛門

原 兵衛

中條三左衛門

去五月出水之節手前懸合候武州葛飾郡
金町松戸渡場より川縁本谷領増水
之處其外大里領川上関宿其外小金野間村
まてハ川縁一通之由武兵衛持伏越堤
堂堤之儀ハ川上取扱候為御届つかまつり候

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

一大川通出水之節堰下役出双方ゟ八人宛拾六人
兼而之御定ニ御座候得共先ッ無余義ハ不残
出候ても及申間敷候間大川堰ゟ出双方より
壱人ッヽ両人村並表中も当分之代役
相勤候積ニ而此一方ゟ二人宛四人差出し候
先格之通年番ゟ申合候

右之通申合候
七月廿日
中嶋庄屋
宗兵衛

大川通出水之儀ニ付申上候書付

口上

大川通出水今夜九時ゟ河落合出段
然ル今晝より八寸程増候合六寸余候
増水ニ而悪水勢水溜り今晝時申上候

松新見廻

以上

一両国橋番屋并橋杭流失之由申出、尤
橋中程之所橋詰抜候所流失ニ付
橋杭損し其外所々損し、其外流失損候所有之
候趣申出

一神田川筋今暮同様損所有之

一長田町末ニ而守ヶ所損し、枝木両国橋江

流失いたし候趣申出

一新大橋ハ長ヶ所損し、其余流失いたし
候由ニ而通路無之趣申出

一通り水橋之内大川橋ゟ町々之人足二千
人余出張防方致し流失之損無之申出
通路差留置候由申出

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

数丈通りニ而も出水場所不残有之候

一大川橋より下昨日夜中ゟ相減候

一神田川通り昨夜ゟ相減申候

一千住河原ニ水関付ニ而最寄河岸漁船相用ニ
相当ニ右請負人相届申候

右之通り御座候

七月二日

中島四三郎

原 兵蔵

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

右同断

一出水有之節者御目付ゟ之儀御月番之方ゟ
御出役之儀者和田倉見廻り出役之方御掛り合
申儀ニ者無之ニ御座候

一今般之増分給ニ御役場之御手当出来候様
出役之節ハ可有之儀ニ御座候

一大水之節者御奉行所ゟ御目付衆ゟ出役之役儀も
出張候

大川通出水之儀申上候書付

口演

本所見廻

大川通水之様子今日九半時迄汐差入合

出役罷出今朝申上候通ゟ凡弐尺程増水ニ

有之水勢水嵩も同様ニ御座候

一 下総古川縁之囲堤切村之中而古境切し

作州多分市門川筋ニ増水之節者
沙汰次第
右之通申上候
七月二日
嶋崎宗三郎
原 兵蔵

西国筋郡代
御同役中様
渡辺兵十郎
田辺平蔵

今朝ハ遠方ゟ別紙差出候

一 右新堤おろし籠出申無船ニため
右堤御ニ橋ゟうけ仕候処右之通仕候
其より新規差出掛り之者共御座候

中ニ去上役庇ニ而作之形罷出居候
江流候処仕直申候

一今度迄九軒江長二百余末口六寸之流木
有之候ニ付取揚置申候

七月二日

西関屋
落合

田邑平蔵様
渡辺長十郎様

以紙面得御意候然者縦下之処庭中
無之下ニためる石縦綱ニ橋台浮木附置
度旨申立候得共作職上役庇ニ而申立候処
此度満水ニ付役ニ而候石川被仰付之

人足ヲ差出候 秋山源左衛門請取

大川通出水之儀申上書付

口届

大川通出水之様子今暁六ツ半時ゟ追々満水ニ而
相役共之通ヲ通囲人足繰増水ニ而水勢も

同役出座候

一 両国橋西ゟ十番之杭留杭震ニ而十八間

右新見也

出座之

七月二日

小舟杭ニ例之通りニ付手当申付候

一 両国橋役船之者共儀人数追而御蔵前附

世話人共右之難船救ひ渡し水主共渡

十二人ツヽ附添置候處諸物流出之分々

附仕候ニ付交代仕候得共出居候間右手

代りの儀追例も出居候ニ付深川海邊大工町

船持共ニ而拾六人ツヽ罷出追而賃銀被下候儀

出居候

一 大川橋之儀ハ拾例之義ニ而出居候間水勢

強く候ニ付為手当碇をおろし高欄ニ

繋き置申候

右之通申上候以上

七月二日

中西三郎右衛門

原 兵左衛門

竪川定浚相願候儀申上候書付

書面

本所見廻

竪川通増水之儀相減平水ニ相成候得共
此節ニ而増水ニ埋リ居候儀ニ付定浚之儀増水
落切候迄難取計追而入用金之儀取調申上
被成下候様申上候

七月八日

中嶋三郎殿
原 兵部殿

御請合申候

神田吉十郎
永谷喜吉

大川橋為御見分碇下し置申度旨掛合候処
別紙之通申立候ニ付猶篤与承合候処
御儀ニ候得者当時差合為御見分碇下し候儀ニ付
申立之通承届申候間此段及御挨拶候以上

右之段申上候

七月六日

大川橋
田島屋甚兵衛
浜島屋長十郎

両国橋
川浩合中様

大川橋出今汐湛ニ而朝之汐一ぱいニて
見え競ニ而も四寸減申候

一 町之方相浩候人足當時代り合出張候
川筋共々支度之取締申付候

一御通船皆風廻シ之為此辺之無挑灯下ケ置
先之例ニ付上ニ旋綱ニ己又挑灯下ケ申候
掛り之者共申上候
一枚尾左長ク相當來討す様之流木有之候ニ付
為御備申上候
右之外相替候儀無御座候以上

[illegible]
七月二日　暮六ツ時

大川筋出水之儀申上候書付

届

大川筋出水之処夜九ツ時過ゟ汐差入候ニ付段々相知
之者申上候分水嵩大尺程本減二尺余有之
増水有之又者減水同程ニ御座候

下許見廻

一大川橋ゟ長三間程之杭木弐本流失仕候

同所為見届ニ罷出
右之通申上候
七月二日
中西三郎右衛門
原　兵右衛門

大川通出水之儀申上候書付
出居

大川通出水之儀今朝六時迄汐満ニ相成
然ル処昨夜中より追々水嵩弐尺五寸程増水ニ而
水勢ゟも相増然処水濁り昨日比之通ニ有之
其外相替儀無御座候

本所見廻

国立国会図書館　タイトル『出水一件』 請求記号 810-18
ガラス使用

一神田川悪水分弱水溜落シ取崩ニ
所ミ通申上候

七月晦日

原善左衛門
中島田三郎兵衛

両国橋落留杭浮キ候ニ付申上候書付

本所見廻

今暁七ツ半時ゟ両国橋七番目之落留杭
浮キ候而流出候ニ付川岸江引上ケ候間申上候
追而建留之儀者右同所ゟ取繕候様可仕候
以上

七月日

中島三郎右衛門
原 長兵衛

南小橋
御組合中様

大川端
渡辺善十郎
田辺平殿

昨夜中別儀無之候

一 昨夜八時頃ゟ汐差ゟ四尺余同日迄之差
ニ候処四寸余も水落候段ニ御座候
申上候

一今朝汐一ごひ高く競ニ候得共満汐ニ而も去
晦日頃之儀ニ而相知不申候且又八寸程
も此節満汐之義ハ弐尺八寸程も減候
之有ニ付乍去中ニ有之此段
右之通ニ御座候此段御注進申上候以上

七月廿日　船手附廻之頃

大川端出水之儀ニ付書付

口上

一大川通増水之様子今朝八時迄汐ニ合
相改候処今朝中迄ゟより四寸程相減二尺
余之出水ニ而相成水勢相増濁も強御座候

承候

本所見廻

一 神田川通も今朝中ゟ六寸減出御座候
右之通申上候以上

七月八日

原 兵庫

中嶋三郎

大川通出水之様子申上候書付

御届

本所同見也

大川通昨夜之様子水表八ツ時迄汐底入ニ而
今朝卯刻水嵩汐底入ニ而只今迄相変弐寸程
相減弐尺八寸程ニ御座候猶又相勢濁水
水嵩同様ニ御座候

一
手作河岸ニ而通シ候船之儀ハ用水路水取
入時之場所ハ船数ニ限リ近隣河岸ゟ船役文貢今
相届申候右ハ河原之儀も少々ハ船役
相止メ候河岸ニ而船数押立候水営も年々
余ニ相減候ニ付御法給
相通申候以上

七月日

中島三郎兵衛
原　甚五兵衛

大川筋出水之儀申上候書付

口達

本所見廻

大川通水之様子今朝六半時迄ハ汐満留
有之候処昨夜同様弐尺八寸位之増水ニ御座
候水勢弱満之儀ニ而無御座候

一竪川筋平水同様ニ而無御座候得共今以

落渇ニ出居候

一今朝六時迄長曽根半振ニ杁尻出川より
流来候所門扉ニ引附様子ニ候

右之通申上候以上

七月四日

原兵庫

中瀬三郎

大川筋出水之儀申上候書付

口上

本所見廻

大川筋出水之様子今夕八ツ半時迄汐差入ニ而
相改候処水底差入候処五寸余相増居候
猶水戸入六寸程増水ニ而水勢強々濁ニ
而別段相応ニ出居候

一 去ル数日来之満水ニ付手当之為メ大川端
所人足共為御普請所宅迄浸水仕
水勢も強候ニ付地面通入用も御増之儀
之旨申渡候段御届申上候
一 堤下浸ニ候ニ付余郷分防人足差出
無之候得共今一両日中御詰添水勢弱り候

候ニ付右之段申上候
一 渡船ニ而渡舟差出候処無之候得共又届舟乗候段
相成候儀有之渡候ニ付此段申上候
右之通申上候以上
七月日
中島三郎右衛門
原 兵右衛門

大川通水之様子申上候書付

口上

大川通水之様子今度大雨時々汐満ニ而
相増候処今夕申上候通満汐ニ而同様相成大分
之増候而水増之儀も今夕同様ニ御座候
右之通申上候以上

東新見廻

七月晦日

中嶋三郎左衛門

原　兵右衛門

大川筋出水之儀申上候書付

江戸

大川通水之様子昨夜八半時過汐差入候付
右段御知ら昨夜汐差入之上尺合も其節文ハ寸程
右減水ハ少シ尺之寸程之増水ニ而御座候
得と落合之様子申上候

本新田見廻

右之通申上候

七月晦日

中嶋三郎右衛門

原　兵右衛門

大川通水之様子申上候書付

口上

大川通水之様子今夕七時ゟ段々相増
然処昨夜ゟ段々減候ハヽ六寸程相減候尤
八寸程之増水ニ而水勢濁も今之通同様ニ
御座候

水行見廻

一 道々水嵩も相減當今晩ゟ相成候ニ付差
相止置候者共御差留之儀被仰渡候得共是迄
之通置長者両人共御手當申付相用候ニ付
右之通申上候以上

七月廿日

中嶋□兵衛
原 兵庫

大川筋水之様子申上候書付

以上

本所見廻

大川筋水之様子昨夜四時頃ゟ段々
然ル今夕迄見合候所今日ニ而凡三尺余減申候
猶水之儀者見廻申上候以上

七月廿日

中嶋□兵衛

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

右通

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

一 高瀬橋大川筋出水之様子之義、只今迄ハ追々入ニ付
相成候処、昨夜分之風雨ニ而六七寸程も増水之
様子ニ而、今日八ツ時之頃分ゟ南風吹返シ候而
少々ツヽ減水仕候、尤流木等も流不申候
一 神田川筋下水ハ以水不申、両所共ニ満水ニ御座候
右之通御座候、此段御届申上候以上

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18
ガラス使用

申
六月廿日

西両国　水防役

同　當番　橋番　嘉須

名主　兵蔵

一　西国橋大川通水之儀平日より七尺之汐満
有之候処此節ハ八尺之汐迄今日ハ合知
同水ハ六七寸程ハ増水ニ御座候右ニ而
何満も見又同様ニ御座候

一　神田川通今般同様ニ御座候

右之通御座候ニ付此段為御届申上候　以上

申
六月廿八日

西嶋 水防役
日下部 猪兵衛
名主 長蔵

一 西國嶋大川通水ハ昨夜今暁七時迄ニ汐流
子刻ゟ減水昨四時迄ニ汐底合壱尺合程之
又ニ六寸程相増都合壱尺六寸程之増水ニ御座候
尤水勢不相替無難ニ之處村役人相詰申候
一 神田川通水嵩同様ニ御座候
右之通ニ御座候ニ付此段御届申上候以上

申
六月廿七日

両国橋　水防役
同東西　橋番請負
名主　喜藤

両国橋大川通水之儀者七ツ半時迄凡座合余
相減候今暁七ツ時迄凡漸々五合余減又々
昇候而猶又四合余昇候而増水出居
候水勢者濁水流有之候

一　神田川通水濁流水勢者以前之通相弛
候

右之通御座候ニ付此段為御届申上候以上

申六月廿九日

南畑 水防役

同 下西 橋番 清須

名主 佐源次

一 南畑橋大川通水之儀子ゟ七寸附迄汲
　ニ付而凡四尺附迄ニ汲座候
　作夜同水嵩壱尺程増水仕候
　尤水勢水留ニ相成申候
一 神田川通水嵩ニ相成勢強ク増水仕候
右之通御座候ニ付此段為御届申上候以上

六月廿五日

両国橋
水防役

同東西
橋番請負

名主
喜左衛門

両國橋大川通水之様子今未中刻迄汐
度入并相改候処七尺四寸外汐差入合
且合ゟ増候而又々六寸程相増都合八尺
程之増水ニ只今ニ而者先水増無之
儀御座候此段申上候

一神田川通水之儀満水無之平水之儀御座候

以上

右之趣出府ニ付候段為御届申上候以上

六月廿九日

西関宿　水番役

同　下曲　橋本又兵衛

若芝　喜藤

西関宿大川通水之儀今朝六ツ時ニ満水
而後水者同半時迄ニ三尺ニ合図相見又同所
当時又猶々増水ニ出府ニ付可然水満之
儀茂無御座候

一　利根川通水満之処見聞御座候

右之通出府ニ付候段為御届申上候以上

申
七月朔日

西宮 水防役
同 末高 橋本貞頼
右同 喜兵衛

一 西宮大川通水之掛り出候処九ツ時ゟ減水
今朝ゟ改而昨夜半時ゟ減水合凡
合六寸減水ニ而只今迄凡五尺九寸余ニ減候ニ付人足
之備候ニ付御座候処先ニ水勢弱ニ付
申上候

一 新田川通も申前同様ニ御座候

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18
ガラス使用

右之通御座候以後為御届申上候以上

申七月朔日

西國橋 水防役

同東西 橋番請負

同 役船頭

並 惣代

両國橋大川出水之儀、昨日之又六ツ時迄

水嵩弐尺相減し、並九ツ時迄水嵩五寸相減合

弐尺五寸減之、同水高二尺程増水ニ御座候

尤今朝ゟ濁水流れ申候

一 神田川出水今朝ゟ同様ニ御座候

右之通御座候以後為御届申上候以上

七月朔日

両国橋　水防役
同　下番　橋番頭
同　役船小頭
名主　正哉

一　両国橋大川筋水嵩桁下今夜九ツ時迄
汐高之人合出水又々守往相増減
六尺五寸相成候ニ付御座候尤出水溜
様中ゝ候処相分り不申候
一　神田川筋是又今夜中ゝ候処相分不申候
右之趣御座候為御届申上候以上

申七月廿日

両国橋 水防役

同東西 橋番頭

同 役船小頭

屋 長蔵

一両国橋大川通水嵩之儀朝六半時迄ニ次
第増有之候処夫ゟ五時頃ゟ引方ニ相成合四ツ時頃
同水凡壱尺余減仕 増水之儀者先水勢
相増候義ニ而無御座候

一神田川通之儀茂水嵩之儀水増有之候得共
右通ニ御座候此段御届申上候以上

七月日

西宮店 水方役

同西面 橋番之頭

同 渡船小頭

惣之 長兵衛

大川橋為御見分被成下置御座候処右様

此当下し置候処渡船下ヶ年并

夕方ニ於御番所ニ手形合不足ニ付其合

之間為御見分として下し置候處拾組

行事ニ并御番所ニ同候中立合下屋

可也之并御領ニ付候中立合

七月八日

大川橋
掛り 名主

両国橋大川通水之儀、子之上刻九ツ半時迄ニ而
底ゟ八尺相減之、朝六ツ半時迄ニ而満ゟ凡八尺合
水嵩之儀同水ゟ四尺通減、増水ニ御座候処
水勢も濁同様ニ御座候

一 神田川通も水勢も弛、水濁も同様御座候

右之通ニ御座候ニ付、此段為御届申上候以上

七月日

南本所 水防役

同所 橋番請負

同 役船小頭

屋 [illegible]

両国橋大川通水之儀者去ル六日朝ゟ追々減水
相成昨七日迄九尺余時迄減水仕候處今日者同所
壱丈四尺程之増方ニ御座候尤水勢者濁
水中之義者相替り不申候

一 神田川通水之義者先達而相伺候通ニ而
有之通ニ御座候此段為御届申上候以上

七月　日

両国橋
水防役

同 本所
橋番頭

同
役船出役

屋
喜兵衛

両国橋大川通水ゝ杭子ニ而九尺五寸通汐
廻今日五ツ時ゟ六ツ半時迄汐湛罷在候
六寸程相減猶水之方今六寸程ニ増水ニ相成候
然ル処猶又満水之儀ニ付相成居
一 神田川通も又水中之儀相成程白中居
右之通此段御届申上候以上

七月六日

両国橋 水防役

同東番 橋番請負

同 役船頭

[illegible] 兵衛

両国橋大川通水之儀、昨子之刻より満潮ニ付

相成、水嵩九ツ半時より汐入合、合目ニ相成候

同所ニ而掛り候ニ付、守杭ニ増水ニ御座候

右ニ付、相手相驰ニ而渇ニ相成不申候

一 新田川通水勢弱ク而、渇出ル相成不申候

右之通御座候付、此段御届申上候、以上

七月八日

両番頭 水谷淡路

同番頭 榊原讃岐

同 渡辺出雲

屋 左衛門

両国橋大川通水ハ橋より七尺八寸余ニ相成候
今日昼後水未九寸余ニ相成候合ニ而合申候
勿論大川筋御蔵前水戸様増水出居
也小石川あたり御池之方濁水あふれ申候
一 神田川通之方弥濁高みあふれ申候
右之通出水之段候様申候間申上候

七月八日

両国橋 水防役

同 両国 橋番請負

同 役船小頭

[illegible] 長盛

両国橋大川通水之儀昨夜八ツ時ゟ追
候今朝六ツ時ゟ追々相減只今迄都合
弐寸程相減候得共水弐尺八寸程之増ニ御座
右水勢ニ而濁流ニ候得共相替儀無御座候
右之通ニ御座候ニ付此段為御届申上候以上

中
七月八日

西両国橋 水防役
同東西 橋番清領
同 役船小屋
番屋 [illegible]

一

西両国橋大川通水嵩平水より六尺五寸増之
汐満之節ニ而水嵩八尺五寸ニ相成候
但シ東西ニ而弐尺八寸程増水ニ御座候
右ニ付弱ニ而満水ニ落居申候
一 新田川通平水ニ同程ニ相成申候
右之通御座候ニ付此段御届申上候 以上

国立国会図書館 タイトル『出水一件』 請求記号 810-18
ガラス使用

七月四日

両国橋　水防役

同東西　橋番請負

同　役船小頭

同　兵蔵

両国橋大川通水ハ杭子量八半時ゟ
汐差入候處夜八時ゟ汐差入合
見合出候處又〻三寸程相減水嵩八寸
程〻増水ニ御座候處勢ニ而ＸＸＸ濁
儀ニ相見へ申候
右之通御座候ニ付此段御届申上候以上

両国橋大川通之儀七月廿一日より

出水ニ付右役ニ而八月朔日迄出役仕

昼夜相勤罷在候處出水大ニ増水ニ

出居候ニ付右様之次第昼夜相勤罷在

申上

右之通出居候ニ付此段御届申上候

七月晦

両番 水防役

同番 橋番 清次

同 役所小頭

壹 兵九郎

七月晦

西國橋 水防役
同 本所 橋番請負
同 役船小頭
右之 惣代

西國橋大川筋水之儀昨夜八ツ半時ゟ汐
底入ニ而七ツ時ゟ八ツ半時迄汐底合各
継候之弐寸程相減然ル水凡八寸程之
増水ニ御座候処先刻ゟ水溜底之差引
相成り申候

右之通御座候此段為御届申上候以上

七月晉

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

七月晦日

西ノ堀 水防役

同東西 堀番請負

同 役船小頭

治之 喜兵衛

松古杉流木

一 六本

内

長二間二尺末口 寸ゟ

同 二間四尺末口 寸

同 四間 末口二寸

同 二間二尺末口弐寸

同 二間二尺末口二寸ゟ

同 二間二尺末口二寸ゟ

桟木流木
一　九本
　内
　栗丸太弐本　但長九尺ゟ
　同角物
　松丸太
　杉丸太七本　但長　弐間ゟ七寸迄
〆
右之通ニ御座候
七月四日
　　　　　　　筆
　　　　　　　衣笠

西岡宿大川通水之様子去ル朔日巳刻頃満水
去ル廿日巳刻頃ゟ入合ニ足合ニ満水
同水壱丈八寸程増水ニ御座候
右之分余濁水中ニ流取扣ケ置申候
右之通ニ御座候ニ付此段為御届申上候以上

七月廿

西組
水流役

同東組
橋番頭

同
役所小頭

名主
太左衛門

両國橋大川通水之様子七度七時ゟ次第
ニ相減候ニ付四ツ時　見合候處同所
まて二尺余も減候ニ付格別之儀無之水嵩
座中取計可申上候
右之通御座候ニ付御届申上候以上

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『出水一件』 請求記号 810-18

ガラス使用

810
18

国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18

ガラス使用

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『出水一件』　請求記号 810-18